


## 令和5年度 教育委員会 経営計画書

職・氏名	経営方針	経営資源			
教育次長 尾副 幸文  	<p><b>●使命</b>                      私たち教育委員会は、市長と教育委員会で構成する総合教育会議において、令和3年4月に策定された「瀬戸内市教育大綱」の重点施策を柱とし、瀬戸内市の教育の一層の充実に向け、令和5年度瀬戸内市の教育に基づいた諸施策を実施します。</p> <p><b>●基本方針</b>                      瀬戸内市教育大綱                      重点1 「確かな学力、豊かな心、健やかな体の子どもの育成」                      これからの時代を生きる上で必要な資質・能力を確実に育む教育を実現します。                      重点2 「子育て・保育・教育を通して子どもの成長を社会総がかりで支援」                      すべての子どもの成長を、学校、家庭、地域及び関係機関が緊密に連携協力し、社会総がかりで支援します。                      重点3 「生涯にわたり学びあう市民への効果的支援」                      あらゆる年代の市民が生涯にわたり学びたいときに学び、生きがいをもつことができるよう、生涯学習の機会の充実を図ります。                      重点4 「健康で活力に満ちた地域社会の形成」                      市民が、いつでも、どこでもスポーツに親しみ、健康づくりや体力づくりを行うことができる環境を整備します。                      重点5 「歴史・文化の保存・継承と活用の推進」                      心豊かで潤いのある暮らしのために歴史・文化等の地域資源を活用します。</p> <p>以上、5つの重点施策の推進に当たっては、教育が未来を担う人材を育成する基盤であるとの認識に立ち、関係機関と連携を図りながら、市民の期待にこたえるよう教育行政を推進していきます。</p>	所管課	総務学務課・社会教育課・公民館 ・図書館・学校給食調理場		
		人 員	正職員	会計年度任用職員	合計
	62人	184人	246人		
	一般会計	3,225,170 千円			
	特別会計	千円			
	計	3,225,170 千円			
	(うち人件費)	(808,931 千円)			

重点項目	内容	成果目標	実績（3月末）
学力向上や生徒指導の充実と指導内容・方法の改善	【学力向上プロジェクトチーム】市内中学校ブロックごとにプロジェクトチームを編成し、学力・学習状況調査の結果を基に学力向上や家庭学習に関する情報交換、研修を推進します。	主体的に学習に取り組む態度を養い、自分で学習を計画する児童生徒を8割以上にします。	11月に実施した市学習状況調査では、例年課題であった中学3年生の減少は一転し、約6ポイントの伸びが見られましたが、全体的には6割5分程度が計画的に学習をしていると回答しており、前年度との経年変化ではやや下がりました。
1 教育環境の改善を図る学校施設や教育設備の計画的再整備	【学校教育施設等整備事業】老朽化が進んでいる国府小学校の大規模改造や、学校・幼稚園トイレの環境整備（洋式化、乾式化）を進めることにより、機能性や衛生面に配慮した施設整備を行います。		
	●小学校施設整備 国府小学校 校舎大規模改造Ⅱ期工事	令和4年度末に着手したⅡ期工事を年内に完成します。	Ⅱ期工事は12月中旬に完成しました。現在、仮設校舎の解体作業をほぼ終えて、運動場の復旧作業に取り掛かっているところです。
	●トイレ環境整備 牛窓西小、牛窓北小、邑久小、今城小、裳掛小、美和小 牛窓中 邑久幼、国府幼、行幸幼	トイレ工事：牛窓西小、邑久小、今城小、牛窓中、邑久幼、国府幼・・・10月末完成  実施設計：牛窓西小、牛窓北小、邑久小、裳掛小、美和小、国府幼、行幸幼・・・3月末完成	牛窓西小、邑久小、今城小、邑久幼、国府幼のトイレ工事は10月末までに完成しました。また牛窓中学校のトイレ工事は11月末に完成しました。これにより、洋便器率（総便器数に占める洋便器の割合）が、小中学校で82.8%、幼稚園で94.0%となりました。  令和6年度に整備予定の箇所の実施設計は、3月末に完成しました。
	●学校体育館照明LED化 牛窓東小、牛窓西小、牛窓北小、牛窓中	9月末完成	牛窓東小、牛窓西小、牛窓北小、牛窓中の体育館照明のLED化は9月末までに完成しました。
適切な「食」の選択力をつける食育の充実	【安全安心な給食】学校給食に係る衛生管理を徹底するとともに、地元の旬の食材や郷土料理を取り入れた「瀬戸内市共通献立」を実施します。	「瀬戸内市共通献立」を毎月実施します。食のしあわせプロジェクトの実施により地場食材を積極的に使用し、地産率20%アップを目指します。	瀬戸内市共通献立を毎月2～3回実施し、市内の学校園で季節の食材を使用した給食を提供しました。令和5年度から食のしあわせプロジェクトを実施しており、瀬戸内市産鮮野菜の地産率（重量ベース）については、令和4年度16.6%が、令和5年度では23.9%と7.3ポイントのアップとなりました。

重点項目	内容	成果目標	実績（3月末）
1	<p>【学校給食を教材とした食育の充実】</p> <p>児童生徒の健康の保持増進を図ることはもちろん、「学校給食法」第2条「学校給食の目標」を達成できるように、栄養教諭が担任や養護教諭と連携し、食に関する指導を効果的、継続的に進めます。</p>	<p>栄養教諭が授業及び給食時指導を年間130回以上実施するとともに、給食だより・献立表により食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけてもらうよう指導します。</p>	<p>3 調理場合計で、給食時指導 96 回、授業 37 回、委員会等 13 回、計 146 回、学校園で食育指導等を実施しました。</p> <p>また、献立表・給食だよりを A3 版カラーで見やすいものし、食に関する正しい知識と望ましい食習慣について情報発信を行いました。</p>
2	<p>子育ての喜び、楽しさが感じられる子育て支援</p> <p>【家庭教育に関する情報や学習機会・集いの場の提供】</p> <p>保護者が集まる機会に、保護者同士が交流しながら子育てに必要な知識・スキルを学ぶ、親育ち応援学習プログラム（親プロ）を実施すると共にファシリテーター取得者のスキルアップ講座を実施します。新しく取り組む家庭教育支援事業で、子どもの育ちや子育てを応援していく場を提供します。</p>	<p>子育て支援センター・幼稚園や市内NPO法人などと連携して、親育ち応援学習プログラム（親プロ）学習会を年4回、スキルアップ講座を他市町と合同で年1回実施、家庭教育支援事業を年9回実施します。</p>	<p>市内幼稚園で家庭教育学級を延べ 14 回行い、そのうち親育ち応援学習プログラムを 4 回実施しました。</p> <p>家庭教育支援事業は、令和 6 年度の瀬戸内市家庭教育支援チーム発足を目指し検討委員会を 4 回開催しました。あわせてプレ事業（プレ講座）を年間 6 回実施しました。</p>
	<p>生活や学習に困難を抱える子ども・家庭への適切な支援</p> <p>【不登校対策実践研究事業】</p> <p>個々の実態に応じた支援方法を研究したり、小学校 3 校に登校支援員を配置したりするなど、登校しづらい児童への登校支援や自立支援を行い、長期欠席・不登校の抑制と「岡山型長期欠席・不登校対策スタンダード」に示す状態の改善を図ります。</p>	<p>小中学校における不登校の出現数を前年度より 10% 減を目指します。</p> <p>そのために、長欠・不登校対策研修会を年 3 回実施します。</p>	<p>不登校の出現数は、3 月末における前年度比で、小学校・中学校とも数名増加しています。複雑化する家庭環境、人間関係、学力不振等様々な原因が考えられます。</p> <p>長欠・不登校対策研修会は 3 回実施し、新たな課題や関係機関との連携などについて協議するとともに、好事例についての情報共有を行いました。</p>

重点項目	内容	成果目標	実績（3月末）
2	<p><b>【適応指導教室のぞみの拡充】</b> 従来の通所を希望する児童生徒への支援に加え、希望するに至っていない不登校児童生徒への訪問支援（アウトリーチ支援）が必要であり、不登校児童生徒への支援機能の拡充を図るため、教育支援センターの設置構想を策定します。</p>	<p>12月末までに教育支援センターの設置構想を策定します。</p>	<p>教育支援センターの設置を含めた、瀬戸内市こどもみらいサポートセンターの基本構想を策定しました。</p>
3	<p><b>【公民館講座開催事業等】</b> シビックプライドの醸成や継続可能な学習のニーズに応えるため、糸あやつり人形劇に関する講座をはじめ、日本画講座や菊づくり講座、牛窓を楽しむ講座、地域再発見ウォーキングなど、地域の資源を生かした学習機会の提供を行います。また、「文化があふれるまちづくり事業」については、市民が主体的に考えた文化芸術活動の活性化を図るため、イベントの開催などの支援を行います。</p>	<p>糸あやつり人形に関する講座や菊づくり講座など、公民館主催事業の参加人数は、年間18,000人を目指します。公民館登録グループの育成並びに特色のある新規講座を開催し新規利用者を増やします。また、受講者へのアンケートも行い、平均満足度80%以上を目指します。文化があふれるまちづくり事業として年間10回以上開催し、参加人数3,000人を目指します。</p>	<p>菊づくり講座など地域資源を生かした主催事業に21,627人の参加がありました。また、受講者へのアンケート結果では、満足であると回答した割合は94.7%となりました。公民館登録グループは、新規登録が8団体あり、新規講座を10講座開催しました。文化があふれるまちづくり事業では、ホールパフォーマンスなどのイベントを6回行い、参加人数は5,890人となりました。</p>
	<p><b>【図書館管理運営事業】</b> 多様な情報ニーズに対応するため、蔵書の充実を図ります。また、巡回する高齢者施設を増やすとともに、遠隔地へのサービスや非来館者への情報提供を充実します。利用者の相談や調査研究の一助となるレファレンス機能などサービスの向上にも取り組みます。市民団体との協働や、行政・専門機関などとの連携を強化し、読書</p>	<p>市立図書館全館の利用者登録率を60%、実利用率（年間に1度でも貸出利用をした人の割合）を18.5%、貸出冊数を約350,000冊（住民1人当たり貸出冊数を9.5冊）、読書案内を含むレファレンス（調べもの相談）対応件数を2,500件とし、市民図書館の来館者数15万人を目指します。</p>	<p>3月末現在の市立図書館全館の利用者登録率は59.2%、実利用率（年間に1度でも貸出利用をした人の割合）は17.7%、貸出冊数は337,923冊（住民1人当たり貸出冊数は9.1冊）、読書案内を含むレファレンス（調べもの相談）対応件数は2,565件で、市民図書館の来館者数は14.8万人でした。</p>

重点項目	内容	成果目標	実績（3月末）
3	活動推進・子育て応援・認知症予防・地域学習支援など、さまざまな課題に対応するための各種事業を実施します。		
	<b>【スポーツ団体の育成支援事業】</b> 市スポーツ協会、市スポーツ少年団等の団体を育成支援することにより、競技スポーツの推進及びスポーツの機会の提供を充実させます。	スポーツ団体の育成に向けた研修会やイベントを年間で5回開催し、スポーツを通じた人づくり、地域づくりを実現します。	地域おこし協力隊と瀬戸内ブルーシャインズが講師となり、市内軟式野球スポーツ少年団を対象とした野球教室を実施しました。  学校部活動の地域連携並びに地域の運営団体・実施主体による地域スポーツクラブ活動への円滑な移行を促すため、特定非営利活動法人瀬戸内市スポーツ協会と委託契約を締結し、陸上競技による「地域クラブ活動体験会」を2月と3月に計2回行いました。
4	<b>【スポーツ公園等整備事業】</b> (1) 邑久スポーツ公園野球場の不陸整正及び劣化した緩衝材の整備を実施します。  (2) 邑久スポーツ公園冒険の森改修工事を行い、親子で遊びを通じた体力づくりが行える拠点施設を整備します。 (3) 長船スポーツ公園テニスコートの芝生化を実施します。  (4) 牛窓グラウンドの拡張工事を実施します。	住民のスポーツ活動を可能な限り継続できるよう発注時期を検討し、(1)～(4)を3月末までに完了します。	邑久スポーツ公園野球場の不陸整正及び緩衝材整備が3月に完了しました。  邑久スポーツ公園冒険の森が完成し、2月プレオープンイベントを行い、約100名が参加しました。  テニスコートの不陸整正を行い、3月に人工芝の設置が完了しました。  牛窓グラウンドは3月に拡張工事が完了しました。
	<b>【女子野球タウン認定】</b> 一般社団法人全日本女子野球連盟による「女子野球タウン」認定を目指します。	認定に向け、試合の誘致や様々なイベントの開催、観客の動員などによる交流人口の拡大、地域経済への波及効果等の包括的な検討を進め、事業の方向性を3月末までにまとめます。	10月に一般社団法人全日本女子野球連盟から岡山県初となる「女子野球タウン」として認定され、連盟と女子野球タウン協定を締結し、3月23日に備前長船刀剣博物館で調印式、3月24日に侍ジャパン女子代表の3選手と瀬戸内ブルーシャインズの選手による野球教室を実施しました。 また、女子野球タウン認定期間5年間の取組及び推進体制をまとめました。

重点項目	内容	成果目標	実績（3月末）
5 文化・芸術に関する活動及び創造への支援	<p><b>【喜之助人形劇文化伝承事業】</b> 瀬戸内市の代表的な文化のひとつである糸あやつり人形劇文化を育てた竹田喜之助生誕100年を迎えることから、人形劇文化への関心を高め、その魅力を伝えるため、喜之助人形劇フェスタ開催の支援やその偉業を後世に伝承するため後継者の育成を推進します。</p>	<p>人形劇文化への関心を高め、魅力を伝えるとともに、後継者の育成のため、糸あやつり人形に関する講座を8回以上開催します。 喜之助人形劇フェスタの開催やプロ劇団の派遣に関する支援を行います。</p>	<p>全8回の糸あやつり人形体験講座が終了し、延べ165人の参加がありました。講座生の中から Setouchi well being という劇団が新規に発足しました。2人の講座生が加入した星の子きらりは活動再開を果たしました。 喜之助人形劇フェスタでは、人形劇のプロ劇団を6団体招致する等の支援を行いました。全国屈指の劇団であり竹田喜之助の弟子が座長を務める「かわせみ座」が音楽と融合した幻想的な糸操り人形劇を披露し、2日間で延べ2,033人の来場がありました。</p>